

白石地区 地域づくり 協議会だより

白石地区地域づくり協議会

〒753-0046
山口市本町1-1-25
白石地域交流センター内
TEL 083-941-5959
FAX 083-941-5966



<http://www.y-shiraishi.net/>
携帯・スマホからは上のQRコードでアクセス!



白石地域交流センターにて

2020年6月1日号 Vol.83

「令和元年度収支決算および令和2年度収支予算」(案)の決議につきまして今般、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の観点から、止む無く令和2年度定例総会を休会とし、本案を书面決議としたところ、異論等反対意見はなく、役員全員
の承認を得たことから可決・成立しましたので、ご報告いたします。

なお、本件の詳細につきましては弊社ホームページで公表しております旨、申し添えます。



令和元年度 収支決算

収入の部

(単位：円)

項目	金額
地域づくり交付金	8,548,748
交流促進特別交付金	630,000
山口線SL運行対策協議会補助金	80,000
参加料	25,000
預金利息	33
合計	9,283,781

支出の部

(単位：円)

項目	金額	摘要	
協議会運営	4,856,803	事務局長給与、事務局員給与、事務費	
事業費	地域振興分野	3,484,279	地域づくり活動参加促進、広報活動、第3次地域づくり計画策定、「やまぐちえき」応援イベント、白石地区町内親睦大運動会開催支援、白石フェスティバル開催支援、町内会親睦活動支援、ふるさとまつり参加促進
	地域福祉分野	273,736	人権啓発活動推進、ノルディックウォーキング講習会開催、チャレンジ健康づくり、健康食のおススメ、グラウンドゴルフ大会
	安心・安全分野	160,365	危険防止看板設置等、反射鏡設置等、自主防災組織モデル、夏休み防災訓練キャンプ実施、安全パトロール
	環境づくり分野	75,248	五十鈴川を守る会
	地域個性創出分野	433,350	お宝写真展、白石歴史探訪の会
		4,426,978	
合計	9,283,781		

令和2年度 収支予算

収入の部

(単位：円)

項目	金額
地域づくり交付金	8,413,000
交流促進特別交付金	370,000
地域づくり交付金積立払出金	600,000
合計	9,383,000

支出の部

(単位：円)

項目	金額	摘要	
協議会運営	4,290,850	事務局長給与、事務局員給与、事務費	
事業費	地域振興分野	4,032,150	地域づくり活動参加促進、広報活動、第3次地域づくり計画策定、「やまぐちえき」応援イベント、白石地区町内親睦大運動会開催支援、白石フェスティバル開催支援、町内会親睦活動支援、ふるさとまつり参加促進
	地域福祉分野	340,000	人権啓発活動推進、ノルディックウォーキング講習会、チャレンジ健康づくり、健康食のおススメ、グラウンドゴルフ大会、むかし遊び
	安心・安全分野	360,000	危険防止看板設置等、反射鏡設置等、自主防災組織モデル、夏休み防災訓練キャンプ実施、安全パトロール
	環境づくり分野	100,000	五十鈴川を守る会
	地域個性創出分野	260,000	お宝写真展、白石歴史探訪の会
		5,092,150	
合計	9,383,000		

JR山口駅構内において 白石地域の写真展を開催します!

募集期間
延長!

他地域住民の皆様へ白石地域の魅力を発信するために、山口駅構内待合室に写真を掲示します。つきましては地域の皆様方へ出品のご協力をお願い致します。※写真のサイズは問いません。出品された方には粗品を進呈します♪♪

7月17日(金)までに、白石地区地域づくり協議会へご郵送、またはご持参ください。

住所：〒753-0046 山口市本町1-1-25

白石地域交流センター内 白石地区地域づくり協議会 宛

電話：083-928-2323

白石歴史探訪の会講演会 松前先生講演会開催延期のお知らせ

新型コロナウイルス感染症の拡大予防の為、6月6日(土)の講演会開催日を延期します。裏面に、変更後の開催日一覧を掲載しております。

お知らせ 新型コロナウイルス感染症の拡大予防の為、
下記に予定していましたがイベントは中止となります。

- 6月21日(日) 春季グラウンドゴルフ大会 中止
- 7月20日(月)・7月27日(月) 祇園祭り 裸坊 中止

第14回

養蚕局 錦旗を製作

皇政復古七十年記念山口史蹟図は、山口県文書館のホームページでご覧になれます。



トコトンヤレ節

「宮さん宮さん お馬の前の(に) ひらひらするのは何じゃいな トコトンヤレ トンヤレナ あれは朝敵征伐せよとの 錦の御旗じゃ 知らないか トコトンヤレ トンヤレナ」

これは明治初年頃に、瓦版に印刷された「都風流トコトンヤレぶし」です。

新政府軍が錦旗を押し立てて進む様子を歌ったもので、日本最古の軍歌ともいわれています。作詞は、長州藩の品川弥二郎。作曲は同藩の大村益次郎といわれていますが、確証はありません。

明治元年(慶応4年・1868)1月3日に勃発した「鳥羽・伏見の戦い」では、薩長連合軍の兵数は5千人、対する旧幕府軍の兵数は1万5千人でした。戦闘に対して士気が高い薩長連合軍ですが、兵力の差は明らかでした。

しかし、戦闘が始まった翌日、仁和寺宮嘉彰親王(小松宮彰仁親王)が征討大將軍に任じられると、薩摩軍が陣を置いていた京都の東寺に、2旛の錦旗がひるがえりました。この時、薩長連合軍は「官軍(新政府軍)」となり、それまでどちらの側の軍につくかと立場を決めかねていた土佐軍が、藩命を待つことなく合流。西国諸藩も次々と呼応し始めたのでした。

日月章と菊花章

慶応3年(1867)10月6日、当時、京都の町を奔走していた品川弥二郎と薩摩藩の大久保利通は、岩倉村(現・京都市左京区)の中御門経之の別荘を訪れ、同席していた岩倉具視らと討幕、王政復古について協議しました。その時、具視は、玉松操が考案した錦旗の図を示し、これを製作することをふたりに託しました。

そこで利通は、京都西陣で大和錦、純白緞子若干巻を購入。10月22日、それを薩長両藩に下った討幕の密勅とともに弥二郎、廣澤眞臣、福田侠平らが山口へ持ち帰りました。

そして、藩主・毛利敬親の許可を得て、後河原にあった藩の養蚕局の一室で、有職家・岡吉春を主任として極秘に錦旗の作製が進められたのでした。

こうして、30日が経過した頃、後に絶大な効果を発揮することになる錦旗(日月旗2旗、菊花章の紅白旗各10旗)が完成しました。

現在、養蚕局が置かれていた場所は、「錦の御旗製作所跡」として整備され、近くを流れる一の坂川は、今日も清らかに流れています。



錦旗製作所跡(山口市後河原)

令和2年度

「白石歴史探訪の会講演会」開催日変更のお知らせ

場所：白石地域交流センター講堂 / 申込：白石地区地域づくり協議会(TEL 941-5959)

参加無料
学生さんも大歓迎!

開催日	演題	講師
※ 7月25日(土) 13:30~15:00	吉田松陰と門下生 1回：吉田松陰の生きざま	小山良昌氏
9月5日(土) 13:30~15:00	吉田松陰と門下生 2回：藩主・毛利敬親	小山良昌氏
10月3日(土) 13:30~15:00	木戸孝允と広戸兄弟	松前了嗣氏
11月7日(土) 13:30~15:00	吉田松陰と門下生 3回：家老・益田親施	小山良昌氏
12月5日(土) 13:30~15:00	大村益次郎をめぐる人々①	松前了嗣氏
※ R3年1月30日(土) 13:30~15:00	大村益次郎をめぐる人々②	松前了嗣氏

※印が変更となっています。



本誌掲載のイベントは、状況により変更または中止になる場合があります。変更・中止の場合は、白石地区地域づくり協議会フェイスブックにてお知らせします。